

2026年世界AI会議（WAIC）調査レポート：AIガバナンスの「二極化」と日本企業の活路

AIガバナンスの二極化：Pax Silica vs. WAICO

米欧主導の枠組み、EU AI法
サプライチェーン安全保障、権利保護、
民主主義的価値観、透明性に重点を置く。



米中両陣営のガバナンス構造と優先事項の決定的な違い

比較軸	西側陣営 (Pax Silica)	中国陣営 (WAICO)
主要枠組み	米国主導枠組み、 EU AI法	WAICO (世界人工 知能協力機構)
重点事項	サプライチェーン 安全保障、権利保護	国家主権、包摂的発 展、オープンソース
哲学的基盤	民主主義的価値観、 透明性	国家中心主義、 安全保障優先

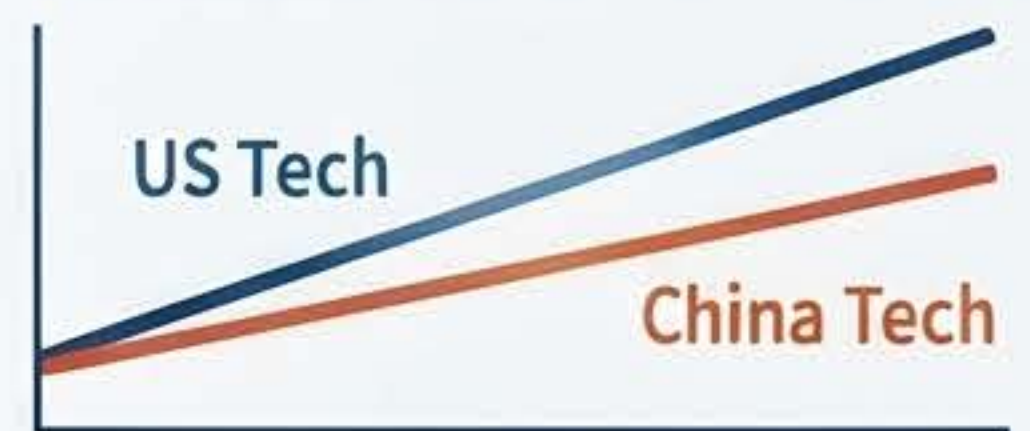
「ルール・メイカー」へと転換する中国

WAICO (世界人工知能協力機構)
国家主権、包摂的発展、オープンソース、
国家中心主義、安全保障優先に重点を置く。



原加盟29カ国の総人口はG7を大きく上回り、中国
製AIエコシステムの巨大な「割拠的受け皿」となる。

米中技術格差が2.7ポイントに縮小



オープンウェイトモデルの普及により、中国製
AIが「正当な選択肢」として台頭している。

WAICO加盟国の市場規模：
25億人・8.2兆ドル

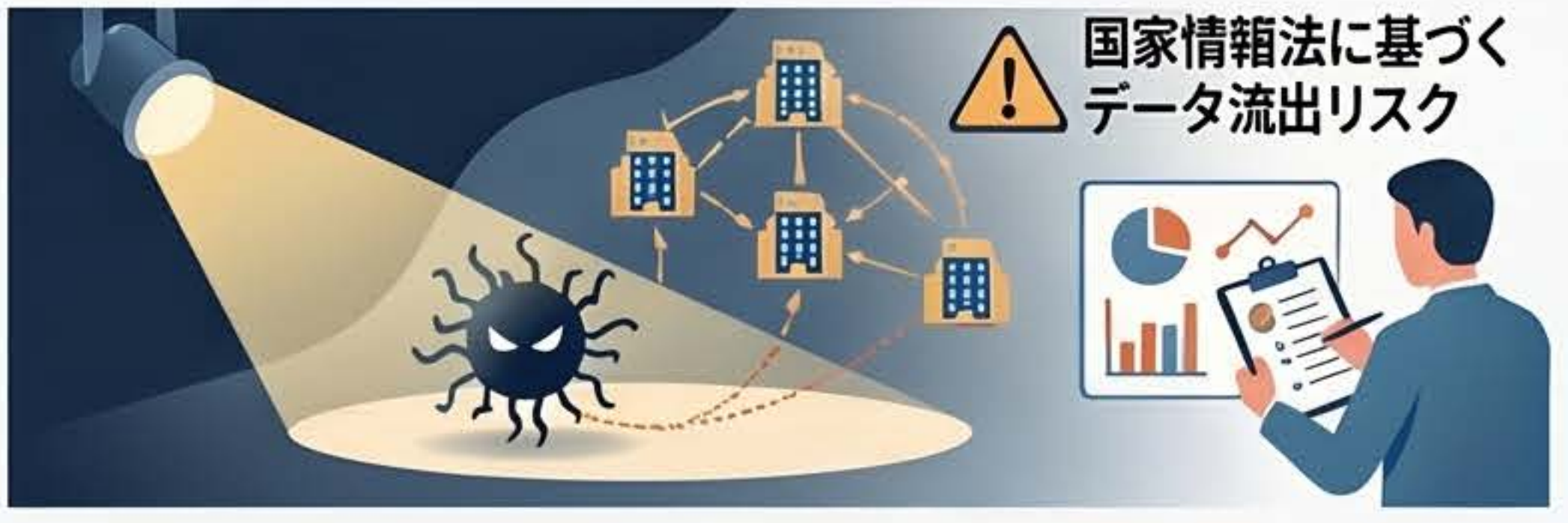
日本企業への戦略的提言：5つの対応軸

「デュアル・コンプライアンス」体制の構築



進出先のWAICO加盟状況をマッピングし、地域ごとに異なる
規制要件を監査する専任チームを統括する。

「シャドーAI」の実態把握と統制



現地法人が接断で導入する安価な中国製AIの利用痕跡を監査し、
国家情報法に基づくデータ流出リスクを管理する。

インフラの「地政学的ポートフォリオ」分散



特定のベンダーや半導体エコシステムへの過度な依存を避け、
マルチクラウド戦略で地政学的リスクを軽減する。